

2022(第24回)全国中高等学生日本語学力競試大会

＜2次大会（スピーチコンテスト）発表原稿＞

中等部8名 / 高等部11名

社団法人 韓日協会

私の夢

이연실(李蓮實、Lee Yeon Sil)

皆さんこんにちは。この大会に参加することになった金川中学校三年生の李蓮實と申します。今日は私の夢について語っていきたいと思います。

私の夢は翻訳家です。皆さんは翻訳という仕事について考えたことがありますか？翻訳はある言語で表された文章を他の言語に置き換えて表すことです。昔から翻訳家になりたかった訳ではありません。教師、公務員などを考えていましたが、大した夢を持たず何も分からない未来のためにただ勉強をしてきました。そんな私が日本の小説に興味を持ち出したのは今から一年前である二年生の春です。本屋で偶然買った本をきっかけに、村上春樹や吉谷信子など様々な作家の小説にハマりました。そこから私は、私もこのように素晴らしい小説を翻訳してみんなに読んでもらいたいと思い始めました。そしてある日私は、その作家たちが本当に書いた文章を読んでみたくて日本語で書いてある原書を買いました。ですが、当時少ししか日本語が分からなかった自分にそれを読むのは無理でした。私は原書を読みたくて以前よりもっと日本語の勉強に励みました。途中で辞めたいと思った時もありましたが、その時はかっこいい俳優が出てくるドラマや可愛いキャラクターが出てくるアニメを見て元気をもらいました。頑張った結果、去年の夏に日本語能力試験であるJLPT n3に合格、そしてその同じ年の冬にJLPT n2に合格しました。今は原書も読めるようになり、完璧とは言えませんが翻訳することもできるようになりました。

私の夢は翻訳家、それも今は変わっていません。韓国の人たちが私の翻訳した日本の小説を読み、楽しんでほしいと思っています。最近はグローバル化が進むに連れて小説以外にも漫画、ウェブトゥーン、ユーチューブ、ゲームなどでの翻訳家の活躍の場が広がっています。なので他の分野の翻訳も挑戦してみたいです。夢を叶える第一歩として、些細なことかもしれないかもしれませんが好きな歌の歌詞を翻訳しています。翻訳する度翻訳って舐めてはいけないと何度も思ってしまう。翻訳は意味が合っている言葉に置き換えるだけではなく、その文章を書いた人の気持ちや、本当に言いたいことを探してそれを一番表してくれる言葉を真剣に考えて選ばないといけないのです。過程は辛くても、言葉を選ぶのが楽しくて、こうやって完成した作品を見ると嬉しくなります。その度翻訳家という素敵な夢を持ってよかったと思います。十数年後になるかもしれませんが、正式に翻訳家になるまで頑張りたいです。皆さんも、夢がないと挫折しないでください。いつか素敵な夢があなたを訪れるでしょう。そして夢を諦めずに頑張ってください。頑張るといつかきっと叶えますから。

ご清聴ありがとうございました。

自分が見習いたい人について

안예주 (安昴姝, An Ye Ju)

皆さん、こんにちは！皆さんには見習いたい人物がいますか？この世にはどんな状況の中でも希望を失わずに勝ち抜いた人がたくさんいます。その人たちは私たちの周辺にいる友人や知人、両親かもしれないし、あるいは私たちと遠く離れた国の人や歴史中の人物かもしれません。私にはこのような見習いたい人が多くいますが、その中でも一番見習いたい3人について紹介しようと思います。

皆さんは柴田トヨという詩人について聞いたことがありますか？柴田トヨは1911年に日本の栃木で生まれ、世界最高齢でデビューした詩人です。柴田トヨは、産経新聞に送った詩が『朝の詩』に入選され、2009年に初の詩集である「くじけないで」を出版しました。この詩集には多くの詩が収録されていますが、その中でも私が一番好きな詩は本のタイトルと同じ「くじけないで」です。試験期間にストレスをあまりにもたくさん受けて全部諦めたかった時、この詩を偶然知ったのですが、まるで誰かが私に直接慰めてくれるような感じがして、とても慰めになりました。この詩集を読むと、99歳の年齢から眺めた世の中の暖かさと経験から湧き出る知恵、心からの励ましが心に響くことが感じられます。こんなにいくら年を取っても人々を心から慰めてくれる彼女がとても尊敬して見習いたかったし、私も彼女のように「人々に少しでも息を吹き返して再び力を出せるようにしてくれるそんな人になりたい」と思いました。

二つ目はニック・ブイチチという人物について紹介したいと思います。彼はオーストラリアの牧師で動機づけ演説家です。彼は生まれた時から先天的に両方の手足がなく生まれました。しかしそんな彼の趣味はゴルフと水泳です。皆さんは「そんな人がどうやって水泳とゴルフをするの？」と思うかもしれませんが、もちろんそのような彼も最初から他人と自分が違うことを受け入れることはできませんでした。しかし、重症障害者の話を聞いて障害で苦しむのが自分だけではないことに気づき、本人を大切にすることができるようになりました。私はその彼の姿を見て自分がどんな姿でも自分自身を大事にする彼がすごくて羨ましく感じました。私は自信が非常に低い人なので、いつも「私がこんな姿だったら良かったのに」と思いました。しかしニック・ブイチチという人について知り、彼を見習うために努力して今は自分自身を少し受け入れて大事にしてくれる事ができるようになりました。これからももっと自信のある人になれるように努力し続けます。

最後に見習いたい人は私の母です。私の母は幼い頃から家庭の事情が良い環境で幼年期と青少年期を過ごすことはできませんでした。しかし、バイトをしなければすぐ休学しなければならないほど豊かでない状況の中でも引き続き勉強して会社も通いながら奨学金をもらって学校に通いました。また、末弟の大学の学費も足してくれました。私はそのように努力して今私が不足しないように生活させてくれた母がとてもすごいし尊敬します。誰よりも私の母が一番見習いたいです。後で成人になって一定の収入を稼ぐ人になったら、その時は私が必ず両親が仕事をしなくても生活できるように努力するつもりです。

これから私は柴田トヨのように誰かの慰めになることができ、ニック・ブイチチのように誰かにとっては希望になることができ、私の母のように厳しい状況の中でも挫折せずに頑張っている誰かが私に見習いたいと思えるようにする人になるよう努力します！

部活で見つけた本当の先輩の意味

조가현(曹佳賢、Cho Ga Hyun)

こんにちは。私はジョンジャ中学校3年生のチョガヒョンです。

私は学校で放送部に所属しています。初めて放送部に入った当時から、色々なことがありました。まず、1年生の時、とても気が弱かったので放送部に所属すると同時に、同級生たちにいじめられました。毎週の掃除は全ては私の役目で、やりたかったアナウンサーの仕事もできませんでした。我慢できず辛かった私は途中で放送部をやめようかとも思いましたが、その時の私によく「あなたはきっとかっこよくて素敵な先輩になれる」と勇気と希望を与えてくれた先輩がいました。その先輩のおかげで私は放送部を辞めることもなく、今はその先輩のように後輩に勇気を与えることができる先輩になりました。

私は2年生の時初めて後輩ができて、どうすれば後輩とうまく過ごせるかについて悩みました。その時の悩みは後悔はしません。おかげで後輩にいつも応援と尊敬を受けているからです。

しかし、その事だけを悩んだ事は後悔します。私がある時、本当に悩まなければならなかったのは「どうしたらいい関係を築けるか」ではなく「私がどうすればいい先輩になれるのか?」ということだったからです。

私が3年生になって後輩にも後輩ができた日、自分の後輩とどうすれば上手く過ごせるかがかえる後輩たちの姿を見て、1年前の自分が思い浮かびました。後輩たちにどう接したらいいかよく分からなくて迷っていた自分の姿でした。

私は後輩に自分の後輩を真剣に考えて導く先輩でいて欲しいほしいと思い、後輩たちにこれまで私が思っていたことや、1年間自分たちは最上級生という立場で後輩に対する接し方について話してあげました。私の話を聞いた後輩たちは私に真剣な眼差しで「ありがとうございます」と言ってくれました。私はその時になってやっと気づきました。初めて私に心から接してくれた先輩のおかげで後輩のことを真剣に考えることができる先輩になれて、後輩たちに本当に接すると心からの尊敬を受けることができたということなのです。これで私は真の先輩というただの学校で会う年上の人じゃなくて、後輩について真剣に考えるという貴重な経験しました。

私が思う本当の先輩とは、後輩を心から考える先輩ということです。このように後輩たちを本気で考え始めて、良い先輩として少しずつ成長するようになると最近では奇跡のようなことも私に起きるようになりました。後輩たちから支持されている私を見て同級生たちが私に「どうしてあなたはそんなに後輩たちから信用されているの?」と話しかけ始めたのです。

最初は心を開くのが難しかったですが、現在は同級生とも少しずつ親しくなっています。これで私は残った中学校1年を部活動の同僚たちと楽しく過ごしたいです。

そしていい先輩としてもっと成長したいです。

ありがとうございました。

都心地で生きていく野生鳥類の窓ガラス衝突と解決案

권나연(權拿燕、Kwon Na Yeon)

皆さん、こんにちは。私は權拿燕と申します。

皆さんは鳥の重要性についてどれほど詳しいですか？鳥は齧歯目、昆虫の個体数調節をして、森と農作物の被害を減らし、病の伝染を防ぎます。

でもこの鳥が人工構造物によって犠牲になっている事実をご存知ですか？

窓ガラス衝突で死ぬ鳥はアメリカだけで年間最大10億匹で、韓国では年間800万匹が窓ガラスに衝突すると推定されています。

これは猫が鳥類に加える危害に続き、二番目に多いです。鳥はガラスを反射性や透明性などの理由で認識できないので時速36KMから72KMまでの速力で飛んでガラスに衝突し、死んだり怪我をします。鳥類衝突事故が多く起きる防音壁には猛禽類ステッカーを付着しますが、猛禽類ステッカーも防音壁のほとんど全体に付着しないと意味がないです。

鳥の窓ガラス衝突を防止するための案はなにがあるのでしょうか。まず5x10規則を分かる必要があります。5x10規則は上下（じょうげ）5cm、左右10cm以内間隔で模様を入れると大多数の鳥がそれを見て避けるという点を利用して作った規則です。これを利用してガラスにフリットパターンのデザインをすると衝突を減らすことができます。パターンの色は灰色とオレンジ色が一番いいです。

次の方法は鳥類衝突防止ステッカーを利用することです。環境部で鳥類衝突防止ステッカー示範事業を進めた時未付着区間は352日の間200匹の斃死した鳥が発見されましたが、付着区間は4匹の斃死した鳥が発見されました。これで鳥類衝突防止ステッカーは鳥の衝突防止に効果があると言えます。

最後の方法は窓ガラスにフィルムを付着することです。フィルムがある窓ガラスはデザインの、私生活保護のため使ったものでしたが、現在は鳥類衝突防止のためにも使っています。いくつかは鳥類衝突防止にすごく役立つので人気が多いです。フィラデルフィア動物園はクマ展示場に窓ガラスフィルムを5年以上使用し、鳥類衝突防止に効果があったと言っています。

現在、北アメリカに住む鳥の30%が消える理由は窓ガラス衝突による事故です。韓国では高層ビルなどの建物が急速に増加している影響により、鳥類の衝突事故が年々増加しています。また高速道路の透明防音壁もどんどん大型化になっています。反射されたガラスが鏡のように見えて、それを森だと勘違いした鳥が鏡にぶつかります。そうやって斃死する鳥は韓国だけで一日2万匹。ここ10年間移動する鳥の10%が消えたという報告もあります。全世界的に鳥類衝突へ関する論文が2000年代以降多くなっています。鳥類衝突の問題はもう世界的の問題になったとも言えます。みなさんもぜひ鳥について少しだけでも興味を持ってください。

今までご清聴ありがとうございました。以上です。

目標と根気は貴方の人生を変える

이정은(李禎恩、Lee Jeong Eun)

皆さんは叶えたい夢がありますか。あるいは、何かのために頑張ったことがありますか。私は日本語勉強を頑張ってきました。

私が日本語を始めるようになった契機は小学5年の頃でした。

当時の私は未来とか夢などには興味のないただのだらしない子供でした。しかし、毎日目標無しで流れる一日は面白くはなかったです。ある日、普通のようにスマホを見てた途中偶然に日本語を接するようになりました。初めては日本語の文字は独特な形をすると感じたが、外国語も学んでみたい気がして日本語勉強を始めるようになりました。

だが、根気を持たなかったせいかわ平仮名と片仮名を暗記したことだけで小学6年の頃に日本語を辞めました。その後、中学1年の夏休みの頃に再び日本語勉強を続けてきました。その理由は叶えたい目標ができたためでした。それは日本で自由に暮らすことでした。その目標を実現するために単語を暗記したり、文法の使いを理解したりして熱中に勉強しました。その努力のおかげで語学テストで高得点で受かったり、日本の歌とかアニメで聞こえる日本語を徐々に聞き取っていく経験をする時に胸の深いところから感じられる嬉しさは言葉で表せないほど楽しかったです。目標のために日本語勉強をする以前と以後の価値観と考え方も変わりました。以前は主に不定的で消極的な考えをよくしてたが、以後は性格も前より明るくなったし、「私なら何でもできる」と自分を信じて色んな挑戦をするようになりました。現在はクラスの級長になったり、色んなサークルに参加したり積極的に活動しています。日本語勉強はただ言語の向上だけでなく私の人生の転換点になりました。

諦めずに、そして根気をもって頑張ると皆さんも必ず何でもできます。

でも周囲の現実には私と同じ価値観を持っている人はよく探せませんでした、少し残念だと思うのはこの世の中は目標も決まっていなかったり、こういう過程無しでただ成果だけ望む人、好きなことさえも知らない人も沢山存在しているのです。後者の場合は特に学校の大体の生徒達によく現れると思います。友達と競争することも、成績に追われることも、まだ幼い私たちには凄く大変なことです。もう疲れてしまった生徒達に意味ある目標を設定するのは十分負担になるでしょうね。(ここで説明する人はまだ夢の無い生徒を意味します。) ずっと強調して言っていますが、目標の設定は人生にとって重要な段階です。目標を設定するためには自分が楽しいと感じれることについて考えてください。そして、機会ができれば、ぜひ逃さないでください。もちろん、過程の中では成功だけでなく失敗もよくするようになるでしょう。それは全然重要じゃないです。重要なことは機会を掴んだのかどうかの問題です。事情がなかった以上、「掴まなかった」というのは根気さえもない人という意味でしょう。皆それぞれの目標を叶えましょう！

地球温暖化とこれからの努力

이세은(李世恩、Lee Se Eun)

住む場所を探してアラスカまで来るようになったセイウチ、足を踏み出す場所である氷河がなくて泳いで脱力して溺死したホッキョクグマ、雪が溶けて泥だらけになったペンギン。動物たちの生活がここまで壊れた理由は何でしょうか。今この瞬間、私たちの目の前には見えませんが、世界中の動物の生存だけでなく、私たち人間の生活まで深刻な影響を及ぼす地球温暖化現象が発生しています。

では地球温暖化とは何で、その原因は何でしょうか。地球温暖化とは地球の地表面の温度が上昇することで、18世紀の産業革命が始まったからこれまでずっと全地球の地表面の温度が続けてより速く上昇している現象です。

このような地球温暖化の原因はまさに温室効果です。地球は太陽から受けた放射エネルギーと同量の地球放射エネルギーを放出しますが、この時、地球の大気が地球放射エネルギーの一部を吸収しながら、地球の平均気温が大気がないときに比べて高く維持される現象を温室効果と呼びます。そして大気から地球放射エネルギーを吸収する気体を温室ガスと呼びますが、産業革命以来、二酸化炭素など温室ガスの排出は避けることができません。

それでは、地球温暖化問題の解決方法にはどのようなものがあるのでしょうか。最も重要な方法は温室ガスを少なく排出することです。これからは化石燃料ではなく太陽熱、風力、水力などのきれいな再生エネルギーを使わなければなりません。交通手段も化石燃料を使用する車ではなく、ハイブリッド車や電気自動車を利用すれば、二酸化炭素の排出量を減らすことができます。また、自然環境を積極的に管理し保護することが大切です。このような努力で地球温暖化を遅らせることができます。

これからも地球の気温はもっと高くなり、気候変化も発生し続けることになるでしょう。しかし、地球は人間だけのものではなく、すべての生物のものであり、人間の生産活動などによる被害に対して責任を負わなければなりません。深刻な地球温暖化を解決するために大の努力が必要であり、全世界で持続的に関心を持ってほしいです。そして皆が日常で小さな努力でも一緒に地球温暖化減少活動に参加することで地球のすべての生物と一緒に生存できる所になることを希望します。

最後までお聞きくださってありがとうございました。

私の夢

김이현(金利炫, Kim Yi Hyeon)

こんにちは、私は中学2年のキム・イヒョンと申します。今日は私の夢についてお話ししたいと思います。実は私には今まで夢がありませんでした。だからといって、何もしなかったわけではありません。夢がないからこそ、子供の時から家族の影響でいろんなことに挑戦してきました。私の父は元スピードスケート選手です。だから私も幼い頃にスピードスケートを習ったことがあります。私は小さい頃からスポーツなら何でも好きなので、テコンドーや乗馬、アーチェリーも習ったことがあります、今でも趣味として休日にしたりします。そして、今は剣道を本格的に習っています。まだ家族には秘密ですが、ロングボードとアクロバティックにも興味があるのでしてみたいと思っています。体を動かすことばかり好きな私を見て母は、もっと女の子らしいことをやってほしいと言って、ピアノとバレエを習わせましたが、私にはあまり合いませんでした。そんな母は中国で留学をしていた経験があるので中国語がとても上手です。母の影響で、私も子供の頃から中国語を習って中国語が少しできるようになりました。そして私には兄が一人います。兄は英語幼稚園と国際小学校に通ったので、英語がとても上手です。私も兄と一緒に英語を習ったので英語にも自信があります。そんな兄は日本の文化が好きで、兄と一緒に日本のアニメや歌などをよく見たり聞いたりしていました。いつもアニメや歌を聞いたり見たりしていると、だんだん自然に日本語や日本文化に興味が湧いてきたのです。そして、今では日本語学院に通いながら一生懸命勉強しています。去年12月の日本語能力試験でN3に合格できたので、今年はN1合格を目指して頑張っています。今までは、英語や中国語も勉強したことがありますが、私にとって日本語は、一番おもしろくて魅力感じる言語になりました。そして日本語を習っているうちに、少しずつ自分のやりたいこと、夢みたいなものが見えてきたのです。それは、日本語通訳士になることです。特に、芸術関連の通訳をやりたいと思っています。なぜなら、私の好きな歌手の米津玄師さんの話していることや歌の歌詞などを、韓国にもいるファンの人に伝えたいと思ったからです。米津玄師さんの歌の歌詞は他の歌詞よりも難しいので、それを通訳してみたいです。まだはっきりした夢ではありませんが、このようなことを考えると、胸がわくわくし、日本語の勉強ももっと楽しくなってきます。これからもっと日本のことを知りたいし、実際に行って日本を感じたいので、一日でも早くパンデミックが収束し、日本へ旅行に行ける日を待っています。もし日本に行ったら、日本の旅館で泊まったり、温泉に行ったり、日本人の友達作ったり、米津玄師さんのコンサートにもぜひ行きたいと思います。最初に夢がないと言いましたが、日本語に出会ったことで、これからしたいことや夢が少しずつ見えてきた気がします。以上です。ご視聴くださってありがとうございました。

韓国と日本の文化の違い

정수연(鄭受娟、Jung Soo Yeon)

こんにちは。私は全羅北道の鎮安に住んでる中学校2年生チョン・スヨンです。今日は私が日本語を勉強しながら知った韓国と日本の文化の違いを説明します。

私が日本語の勉強を始めたのは今年の2月です。進撃の巨人と言うアニメを見て字幕なしでアニメを見たいと思いましたので勉強を始めました。いろんなアプリで日本の友達を付き合っって話すのが日常だったんですが文化が違って喧嘩になることもありました。私はその時文化の違いを理解するのは重要だと思いました。前には日本語ができれば日本人と使いこなすと思っていましたがそれは違いました。お互い文化を理解しないと今まで頑張ってした努力が無駄なことだと思ってその時から文化の違いも勉強をしました。最初は友達に聞いたりグーグルに検索したりして文化の違いをだんだんわかるようになりました。

その中で私がびっくりしたのはお風呂を家族と一緒に入ることです。韓国は家族と一緒に入らないので最初は汚いと思いましたがそれは私が文化の違いをわからない時に考えたので今このことを言ったら恥ずかしくなります。今は汚いと思わないし日本のお風呂の文化は環境を守るとこもできそうで気に入ります。2番目は日本人はカードをあまり使わないことです。人によって違うかも知りませんがカードよりは現金を使うと友達から聞きました。それで日本にはどんな店に行っても基本的にお金を置くカゴがあるらしいです。私は現金を持つのがめんどくてカードを使いますが現金を使ったら減るのが見えるから私みたいにお金を使い果す人はカードよりは現金を持つのがいいと思いました。3番目は日本人は自分の意見をはっきり言わないことです。例えばなんかする？と誘ったら「まあいいよ」とか断る時は「大丈夫かも」みたいに曖昧に言います。最近SNSで見たんですが日本人は相手を配慮することが慣れていて無意識に曖昧に言うんだと思います。4番目はご飯食べる時器を上げることです。韓国は食卓に置いてさじと箸だけあげて食べますが日本は器を上げて食べるのが普通なのですが私には日本の文化の中で一番好きな文化です。器をあげたらおかずや汁を落とすことはないと思ったので綺麗なご飯の食べ方だと思いました。最後の5番目は呼び方です。韓国はオンニとオパって言う年上人に使う呼び方がありますが日本は家族以外には名前を呼ぶのです。最初日本語の勉強を始めた時は年上の友達になんて呼べばいいかわからなくてお姉ちゃんを使いましたが実際に使う人がいないのを見て呼べ方を直しました。韓国では年上の人に名前だけ呼ぶことは無礼なことですが日本はほとんど名前を呼びますのでたまに相手が何歳か忘れることもあります。

今まで私が日本語を勉強しながら知った日韓の文化の違いを説明しました。文化を理解することになってから友達ともっと仲良くなれる機会になりました。ご清聴ありがとうございました。

あるのが当たり前のこと

박민서 (朴愍書、Park Min Seo)

私は最近、[世界から猫が消えたなら]という小説を読むことになりました。この小説の内容は、病院で余命わずかであることを宣告された主人公の前に主人公と全く同じ姿をした男が現れます。

その男は自分を悪魔と言い、この世界から何かを消す。その代わりにあなたは一日だけ命を得るという提案をします。主人公は生きるため、世界から消すものを決め始めます。

私は最初、単なるファンタジー小説だと思いながら読んでいました。しかし、後半になればなるほどなにかなくなってから初めて、その大切さを知る主人公を見ることが出来ました。

この小説で、1番心に残ったことは、[家族はいる物ではなく、家族はするものだ]という文章です。

私は、私の家族を大切に考えなかったと思います。家族のことより、私を優先し、一緒に時間を過ごすことはあまりなかったんです。なぜなら、家族はいつまでも、私と一緒にいてくれると考えていたからです。

しかし、この本を読んで、もう一度家族をよく見たら、誰も私のように行動していませんでした。みんな、家族のために行動していたんです。

特に、私の母は私のため働き、家では料理をしてくれたり、直接的に間接的に、私のために行動してくれていたんです。

そして、気づいたのは、このお母さんはいつまでも私と一緒にいてくれることは無い、これがいつ終わるのか知らないということです。

また、家族だけではなく、私が今享受していること、当たり前のように考えていたものの大切さも知ることになりました。この小説の中だと、携帯電話や時計などがあります。これらは私たちが当たり前のように享受していることですよ？

小説を最後まで読んで、これはファンタジー小説ではなく、教訓をくれるものだと感じました。そして、私がこの本から見出したことは、あるのが当たり前であることは無い、ということです。

私たちが、当たり前のように考えていたこと。それが家族であれ、ものであれ、それらの大切さをもう一度考える機会をくれたと考えます。

みなさんも、[世界から〇〇がなくなったら] この〇〇の中に自分が当たり前だと考えていたものを入れて考えてみてください。私たちは果たして、それがなくなっても生きていけるのでしょうか？

これからの日韓関係とアジアの未来

이연훈(李演勳、Lee Yeon Hoon)

私は以前から日本だけでなく海外の文化に興味があり、日本語や中国語など外国語を勉強してみたり、海外の文化に関する動画を探してみたりすることが日課でした。そうしているうちに国際関係にも関心が高まり、今では国際関係学を学べる大学への進学も考えるようになりました。

現在発生している世界の問題の多くは国際関係が原因です。日韓関係やウクライナ情勢などこのような問題の原因と解決策は主に国際関係、外交にあります。

そのなかで、日韓関係は韓国と日本にとって現代社会でも政治・経済・文化・社会的に数々の影響を相互的に与えています。韓国と日本は、まずお互いに地理的にも文化的にもとても近い関係にあり、経済的にもお互いの行動一つ一つが大きな影響になります。このことから、日韓関係の改善は、両国にいい影響を与えることができれば、お互いをいい関係に発展させることができると思います。

しかし最近の日韓関係を考えてみると、いい事ばかりではないように思います。前からもそうでしたが、韓国と日本の間には、複雑な問題が複数存在し、政治的にお互いを非難しあってきました。特に2019年の貿易紛争はこのような日韓関係の冷え込みをさらに深める原因の一つになりました。しかし、先ほど話した通り、韓国と日本はお互いに影響を与え合っている必要不可欠な存在で、日韓関係を改善するのは両国にとって重要な課題のように思います。そのためには、お互いの政治的・経済的な連結を強めるなど国家間の努力も重要で、文化的な交流の面では両国の人々ができることもあると思います。国家間の関係をよくするためには、お互いに対する理解を欠かすことはできないからです。

では、日本と韓国からもう少し範囲を広げて考えてみたらどうでしょうか。アジアの多くの国々では貧富の格差、治安維持、資本主義の定着など解決すべき問題はまだまだ山積みです。しかし、アジアには世界人口のおよそ三分の一が集まっています。それに、天然資源が豊かであり、軽工業、IT分野など、様々な分野での発展が進んでいることから、西洋に比べ開発の程度が比較的低いアジアの国々には可能性が多々存在するといえます。実際に中国、インド、ベトナムなどの国は早い成長を成し遂げています。東アジアの技術力、東南アジアと西南アジアの天然資源、中国やインドからの人的資源を合わせ、アジアの国々がお互いに協力し合うことができるなら、きっと世界でも強い影響力を発揮することができると思います。このようなことから、これからの世界の未来は、西洋ではなくアジアにあると思っています。

このような私の考えは私の進路だけでなく、自分を多く変えたきっかけとなり、いろいろな物事に繋がっている国際問題について深く考えるようになりました。将来、韓国と日本、さらに世界との「架け橋」となり、国際社会に貢献したいと思います。

日本の国産ワクチン開発

이소은(李焯垠、Lee So Eun)

日本には規模の大きい製薬会社が多々存在し、今も日本は医療分野の強国だという認識があるほど日本の医療技術は優れていると評価されています。しかし、こんなにも高く評価されている日本が、コロナウイルスのワクチン開発については遅れをとっていることについて、疑問を持っている人も少なくないです。医療先進国のはずの日本が国産ワクチン開発に遅れている原因だと指摘されているのは、何でしょうか。

指摘されている一つ目の理由は、ワクチン開発における企業の消極的な態度だそうです。日本の製薬会社は、20年ほど前、ワクチンの副作用に係る裁判で敗訴し、ワクチン産業から退去していました。日本のワクチン開発に問題を提起する人たちは、これらの判決により、製薬会社はワクチン技術開発に消極的になり、平常時のワクチン技術の蓄積不足へと繋がったのだと指摘しています。わずか30年前までは優れたワクチン技術をアメリカに輸出していた日本がアメリカに遅れている原因が、日本のワクチン開発への消極的な態度なのだという主張です。

二つ目の理由は、政府からのワクチン開発予算が十分でないことだそうです。ワクチン開発の先頭に立っているアメリカのバイオ企業、モデルナの場合、コロナ事態が起こる以前から、米国の保健社会福祉省から数百億円の支援を受け、mRNA ワクチン開発を研究し続けてきました。その結果、モデルナはいち早くワクチンを開発することに成功しました。それに対して、日本の厚生省は2018年ワクチン臨床試験の予算をカットするほど、コロナ事態以前から、ワクチン技術の開発にあまり集中していませんでした。日本のワクチン産業が停滞していたのはこれのせいだという意見もあります。

三つ目の理由は、ワクチンに関する古い制度を維持していることだそうです。緊急の時、ワクチンの承認過程の一部の省略を許可する制度である EUA を採択することで、早めにワクチン開発に成功したアメリカとは違い、日本はコロナの非常事態の時も既存のワクチン承認制度を維持してきました。日本のワクチン承認制度には3回の臨床試験が存在しますが、シオノギ製薬などの日本の製薬会社がワクチン開発を成功的に進めたにもかかわらず、最後の三回目の臨床試験を通過できず、承認を得ることに失敗しました。ゆえに、柔軟性のない承認制度の影響で、ワクチンを開発できる最後のチャンスを逃してしまったのだという主張が出ています。

シオノギ製薬の手代木功社長はこう言いました。“家に常備する消火器は、二年間使う機会がなくても買って損をしたとは思わないはず。感染症のワクチンや治療薬も似ている。その開発や生産に平時から税金を投入する意義について、国全体で真剣に議論してほしい。”と。社長の言葉通り、日本が現在必要としているのは、指摘されている問題を解決するための、ワクチン開発への日本社会の持続的な関心なのではないでしょうか。

日本語が見せてくれる絶景

윤아라(尹アラ、Yoon Ah Ra)

皆さん、皆さんは日本語の世界に初めて足を踏み入れたきっかけを覚えていますか？恐らく、ここにいらっしゃる皆さんが日本語に興味を持ち始めた理由や時期はそれぞれ違うと思います。よく思い出せないくらい昔だったり、初めから日本語愛がすごい方もきっといらっしゃるでしょう。今日はあの時の自分を久しぶりに思い返しながらか、私の話を聴いていただけませんか？皆さん、こんにちは。私はユンアラと申します。今日は皆さんに私が日本語と真剣に向き合うようになったきっかけについて、そして私が見ている日本語という世界の風景について話したいと思います。

時は中学3年、この時のアラは日本語自体にはあまり興味がありませんでしたが、日本のゲームやアニメが大好きで、少しは日本語を聞き取ることができる、明るい子でした。そんな私はある日、とある知り合いからこう言われました。「ゲームの世界大会に出るためにチームを組んでいるけど、一人日本人がいて困っているんだ。良かったら君が通訳をしてくれない？」当時の私は「私なら簡単でしょ！」と思い、受け入れました。今になって思えばあの時の自惚れていた自分に「通訳嘗めんじゃない！」と言ってやりたいし、とても恥ずかしい黒歴史なのですが、この時こそ自分の人生の方向性を変えた、いわゆるターニングポイントだったと思います。世界大会優勝を目指しているこのチームの為に！という思いだけで、私は生活日本語と基本漢字、そしてそのゲームの用語が日本ではどう呼ばれているかを全部調べ、試験勉強よりもさらに凄い勢いで覚えました。そして毎晩チームの練習に参加して、辿々しい日本語で一生懸命通訳しました。

そのお陰で、私はこの頃「日本語」というものとちゃんと向き合うことになり、ますます日本語の魅力に、そして日本語が見せてくれる風景に捕らわれてしまいました。私にとって言語はただ私と人をつなぐ道具だけでなく、一つの芸術だと思っています。すべての言語はそれぞれの歴史と文化、感情、価値観を元に作られてきたので、全部違う空気を作り、同じ意味でもどんな言語で話すかによって全然違う景色を見せてくれます。韓国語が作り出す景色は英語や中国語が作り出すものとは異なる、でもきっとそれぞれ自分の個性をいっぱい持っている美しい景色だと思っています。

その中でも、私は日本語が見せてくれる風景に魅了されました。私が観ている景色を足りない語彙力でも表現してみると、派手ではありませんが、決して地味とは言えない、静かで、物凄く繊細で、ふわふわしていて可愛らしい感じがします。風景だけではありません。ここにさらに暖かい色を彩ってくれて、日本語で話しているといつの間にか心の中には絶景が広がっているような気がして凄く嬉しくなります。そして今はこれからどんな絶景を見せてくれるか、どんな素晴らしい場所へ連れて行ってくれるかという期待で一杯です。恐らく皆さんが日本語で感じる感情や風景、色彩は私とはちがうでしょう。また、まだ19歳の私が観ている風景はほんの一部で、皆さんが観ているものはもっと広いかもしれません。皆さん、皆さんにはどう映っていますか？皆さんの目の前にはどんな素敵な絶景がキラキラと輝いていますか？お聞きくださいませ、ありがとうございました。

日本語の乱れ、見させていただきます！

김민규(金旻奎、Kim Min Kyu)

御早う御座います。김민규です。宜しくお願ひ致します。前にこんなことが有りました。ユーチューブの動画を見ていたら、「食べれる」とか「行かさせて頂く」とか色々見たことの無い言葉が出て来て、瞬間意味が分かりませんでした。それは文法に合わざる言葉でした。それで私はこの日本語の乱れについて代表的な二種類を紹介しようと思います。

先ず、「食べれる」は「食べることが出来る」という意味であって、よくこの様な言葉は「ら抜き言葉」と呼ばれています。これは上一段、下一段、カ変動詞の未然形に付き、可能、受身、尊敬、自発の意味を持たせる助動詞の「られる」から「ら」が抜けた形で有ります。2020年の文化庁の「国語に関する世論調査」によりますと、一部動詞に限っては「ら抜き言葉」が過半数を占めていました。何故使われるのかと言いますと、五段活用動詞との文法的統一性と「られる」のほかの意味との区別がし得る事、等が挙げられますが、使われる範囲が不確かですし、慣れていない動詞には活用が事実上出来ないのが限界です。

そして「行かさせて頂く」は「行かせて頂く」と意味が同じで有り、「さ入れ言葉」と呼ばれつつあります。「さ入れ言葉」とは五段動詞の命令形助動詞「～せる」に不要な「さ」を入れる事を指します。主に「させて頂く」の形で使われます。同じ文化庁の調査によりますと「ら抜き言葉」より使用率は至って低いです。大体三割を超えて居ません。この「さ入れ言葉」も上一段、下一段、カ変動詞の使役形との文法的統一性を持ちます。然し、敬語の誤用で有るが故、社会的に良い印象を与えかねます。これと類似な事例として韓国語の「事物尊称」と呼ばれる敬語の誤用が問題になったことが有ったそうです。蛇足ですが、タイトルに書いた「見させていただく」は「見る」の未然形に使役助動詞「させる」が付けられたので、「さ入れ言葉」ではなく、文法的に正しい活用です。

言語は時代が経ちつつ、よく変わりますが。最近ではデジタル化やコロナ禍に依って変わる速度が速くなって、これの故に発生する世代別疎通障害や聞き手の不愉快等はどうしようもない現象で有り、従って近いうちに文法面で大きな変化を「見れる」と思います。

私の発表は以上です。ご清聴有難う御座いました。

平和への一步

신혜원(申惠元, Shin Hye Won)

今年の2月24日、とても残酷な事件が起きた事を覚えていらっしゃいますか？その日は恐らく皆さんが良くご存知であるロシアがウクライナへ侵攻した日でした。今の時代に戦争はあり得ないと思っていた私はその日ニュースを見た後、とてもびっくりしました。侵攻の理由としては、大きくNATOという北大西洋条約機構の東進政策を追い風にウクライナがNATOに入ろうとした動きを防いでウクライナを自国の影響の下に置こうとした利己的な欲を満たす為でした。ロシアは国際社会で武力を利用しながら正当性のない口実で他国を侵攻しました。その過程で無辜な民間人を含めた沢山の命と財産、日常を奪われました。

このようなロシアの動きに対して諸国はそれを批判し、ウクライナの人々を助けるために、平和の為に努力しました。例えば日本の場合、ウクライナの周辺国に人道的な支援を目的に自衛隊の輸送機を派遣して避難民を積極的に受け入れようとする態度を示したり、寄付金を送ったり、ウクライナの大統領のスピーチの時は国会が国会議員に満ち、彼らを応援する積極的な態度を見せました。西洋の様々な国も難民を受け入れ、寄付金もしくは補助金という形で彼らを支援し、ウクライナの大統領のスピーチの後には彼らを支持する、力強い拍手がありました。

また、韓国も緊急医療品や寄付金を通じてウクライナの力になるよう努力しました。しかし、韓国は現在起きている非倫理的で非道徳的なロシアの動きから被害を受けているウクライナの人々に平和をもたらすように積極的な努力をしたのかと言う質問に私は「そうである」と答えられません。私が本当に好きで、誇りを持っている母国ですが、平和への態度だけは恥ずかしくて韓国が直すべきの態度であると思いました。

韓国はもちろん日本を含め、世界中の多くの国はロシアと沢山の交易をしています。ロシアを批判する事で自国に不利を招いてしまうかも知れない事を分かりつつ、反人倫的な問題に関しては妥協しない態度を取りました。しかしながら韓国は国会から要望したウクライナの大統領のスピーチに全ての国会議員の1/5が参席したところを見るだけでどんな国とも比べられない程、平和への消極的な態度を取っていた事が分かってきました。国会の態度だけではなく、積極的に難民を受け入れようとしたり、助けを与える為の行動をするのではない消極的な態度を取っていた事は果たして世界中を導いている先進国の内の一ヶ国であると言えるのかと疑わざるを得なかったです。平和にもう一步近づく為に、当たり前で守られるべきの命の為に私達が、そして韓国がより平和の為に妥協しない積極的な態度を取るべきだと思います。

これから私は日本語を通じて韓国の足りない部分を分かった事をきっかけに、韓国が先進国として世界の平和に寄与していると堂々と言えるように、世界の人々に平和の大事さを伝えられるようになりたいです。

ご清聴ありがとうございました。

作品と世界を繋ぐ橋

정슬기(鄭スルギ、Jung Seul Ki)

こんにちは。私は日本語と日本の文化が好きで、学校で日本語を学んでいるごく普通の高校生です。今日は私が思う翻訳について少し話していきたいと思います。

私が翻訳という独特な趣味を持ったきっかけは偶然テレビで流れていたアニメでした。月並みな話ですが、私はアニメで日本の作品に初めて出会いました。そして韓国とは似て非なる日本の文化に心を惹かれて、日本の曲やらバラエティー番組やらに触れていく内に、自然と日本語に慣れていったのです。最初は聞こえてくる日本語の意味を知りたくて興味本位で始めたのですが、日本語の勉強はいつの間にか私の新しい目標になっていました。

日本語は色んな一面を持っている、とても魅力的な言語です。日本人の性格を表す独特な文法とオノマトペを合わせ持っていて、さらに文字を三種類も使います。一つの単語にニュアンスや話し手の特徴まで盛りだくさんの要素を詰め込もうとする、まるで欲張りさんのような言葉なのです。私はこの不思議な言語がどうしても好きで、欲しい物があるなら何でもあげたいくらい心を奪われています。

そしてその愛は翻訳に結び付きました。私の好きな言葉で書かれた好きな作品を見て感じた感動を誰かと共有したかったのです。頭の中で言葉をずらっと並べて、辞書を片手に文章を紡いでいく作業はとても楽しくて、同時にとても慎ましい作業です。異なる言語には当然違いが生まれますので、翻訳された作品に訳者のスタイルがにじみ出るのは必然的なことだと思います。それでも、訳者がどこまで介入しているのかはいつも翻訳家を悩ませます。

いつか、福岡の博多を舞台にした小説を読んだことがあります。国内では出版されていない次回作が読みたくて原書を購入した時、作中で博多弁が使われていることを初めて知りました。訳された小説では標準語を使っていたからです。

ある翻訳家さんは外国語の方言を翻訳する時は慎重に取り組むべきだと言いました。理由は、訳者がその方言に詳しくない場合もあるし、色んな方言の微妙な違いを似せるのはとても難しいからだそうです。しかし、標準語と方言が与える印象が同じではないのも事実です。

同じように、歌詞もまた多くの訳者を苦しめています。歌詞は歌にするためのものですので、リズムを生かすために文字数を合わせたり同じ母音で構成された単語を使ったりしています。そこで、訳者は深い悩みに陥ります。元の曲のようなテンポ感を出そうとすると、原曲の語彙を一部諦める必要があります。また、作者の表現をなるべく再現しようとするとも歌詞の性質が薄れてしまいます。

これらの問題を回避するために、直訳と意識が必要なのです。その両方を手札に取り揃えて適時に適切なカードを出せたら、翻訳の質はより上がります。甲乙をつけるより、私は二つの翻訳が上手く相まってこそ本当にいい翻訳が出来上がると考えています。

翻訳された作品からも原作と同じ感情を味わえるようにするため、これからも練習を続けていきたいと思っています。

夢で得たもの

이한빈 (李漢彬, Lee Han Bin)

皆さんは「ハッカー」って聞いた時どんな姿が浮かびますか？

ほとんどの人達は「真っ暗な部屋でフードや帽子をかぶり、キーボードをガタガタと打ちながら悪いことをする人」と思い浮かぶでしょう。僕の夢はハッカーです。「何でこんな夢を持つ事になったか」「夢を追いながら得たものはなにか」について語っていきたいと思います。

僕は小学校3年生の頃、初めてスマホを貰い、当時流行っていたスマホゲームを始めました。ですが僕はゲームをするだけでは気が済まず、このゲームの実況などをブログに挙げてみようと思い、すぐ実行しました。最初ブログをみってくれる人は誰もいなくて、すごく落ち込んでいました。だが、ブログを運営していた他の人達と親しくなって、ブログの書き方のアドバイスを貰ったり、デザインなどを教えてもらったりしてブログを続けた結果、一日7000の人がブログを見るようになる成長を果たしました。ここでとどまらず、自分で直接ゲーム内に欲しい機能を入れるためプログラミングを勉強し、それをブログにまとめる活動もしました。同じ時期、ハッキングを主題にしたゲームを接し「個人情報を守るハッカー」つまり、ハッキングを防ぐハッカーを憧れるようになりました。情報保護のためには犯罪を侵すハッカーがどんな仕組みで攻撃を行うのかも把握しなければならぬため、ハッキングの勉強もし始め、ブログにまとめて載せました。

このような活動で規模が大きくなったブログを運営していると、本当に色々な人と会うことになって、その中でも日本文化が好きな人達と絡み、僕も自然に日本文化を好むようになりました。もう、完全にハマってしまったのです。アニメ、ドラマ、映画、そして漫画などを手当たり次第観て気づいたら、いつの間にか字幕なしにほとんどの日本語を聞き取れている事が分かりました。本当の日本人と友達になって話してみたいと思った僕は、世界中の人達と遊んだり、話したりするゲームを見つけ日本人と友達になれました。その中で一人は最初、自分の経験から韓国人に対しての悪いイメージを持っていました。だけど僕と話し、遊んでみると「面白くていい人」って印象をもらったらしく、韓国料理に興味を持って色々買ってきたり、韓国語をちょっとだけ学んで話したりして韓国にいいイメージを持つようになり変わりました。これをきっかけに僕は日韓両国民が抱いている悪い気持ちなどを互い話し合うことで晴らす事が出来ると感じました。

僕は夢を追いながら小さくは日本語、技術、大きくは経験と友人を得ることができました。これらを活かしてセキュリティ専門高校に入り、技術を鍛え、今は日韓情報セキュリティシンポジウムなどの交流に参加して両国のセキュリティを増進させること、また、両国の国民達と話し合い認識を改善させることを夢見ています。皆さんも夢を追いながら得たものを考えてみてはいかがでしょうか。これから先、絶対役に立つと僕は思います。ご視聴ありがとうございました。

本当の大人になれ、少女。

김희연(金禧衍、Kim Hee Yeon)

あの、すみません。今何時ですか。

これはただの時間のことではありません。人生を24時間だとするとみなさんは何時頃を生きていますか。私たちの両親の世代だと大体「人生の午後」を生きていて、私たちは「人生の午前」を生きています。いわゆる思春期の時期である私は高校を卒業すると大人になります。でも、年を取ることで大人になるのではなく、「本当の大人」とはなにか悩んでいました。そんな私に「本当の大人」とはこれだ！と行動で見せてくれたある方々がいます。その方々から教えてもらった大事な大人のことについて紹介させていただきます。

一つ目、人生は、思い通りにいかないものだという事を受け入れることです。

いくら自分なりに頑張っても目に見えない壁にぶつかったり、病気のことで前に進めない時もあります。それに人との繋がりで生きているのが人生なので人間関係の問題で逃げる道はありません。人は必ず誰かに好かれ、それとも誰かに嫌われるということも容認できることで、人間はふくよかになっていくと思います。

二つ目は「振り返る暇」はないということです。

私は大きな失敗をしたあとは、その失敗自体のみならず、「自分は何ひとつうまくできない」と、自分のすべてを否定する考えばかりが浮かんできて、「無気力」にさいなまれたりしました。でも、勇気を持って粘り強く追いかけて、立ち向かうのが怖くても「振り返る暇」より、自分は弱いということを受け、ただ前に向かっていくことに目覚めました。そして過去と今を受け、自分の未来をもっと輝かせることはとても素敵だと思いました。

三つ目は自分のそばにいる人を大切にすることです。

成功するまでの道のりには、いろんな人のサポートが携わっています。立派な成功者たちはみんな、周りの人に誠意をもって接することを忘れません。それで、周りの人に感謝を伝えない人は「それ、難しいから…」という言い訳だけで、人に感謝の気持ちを伝えないままでいるという選択肢が最初から頭にあるのでした。つまり、誰かを心から大切にすることの優しさをいつも心に刻んでおくことが「本当の大人」なのではないでしょうか。

私はこれからも足りない自分をいろんなことにぶつかりながら「本当の大人」について悩んで近づきたいです。ですが、世の中は単純ではないです。寂しい時も辛い時も、傷ついて立ち止まって涙流す日もありました。だけど、「本当の大人」を自分で考えて、教えてもらった今、それが私が思っている「本当の大人」になって行く過程だと思っています。みなさん、いつか私も「人生の午前」が過ぎて「人生の午後」を生きるようになります。その時、私が教えてもらったことをまた誰かに伝えながら、何度も立ち上がる人になりたりです！これから私がどんな大人へと変わっていくのかぜひ見守ってください！

ご清聴ありがとうございました。

私の夢と日本語

오동훈(吳東勳、 Oh Dong Hoon)

現在の私の夢は外交官です。外交官になって、韓国と日本の交流に役立つ人になりたいです。この夢を持つようになるまでは、いくつかの切っ掛けがありました。

小学校に通っていたおよそ5年前、私は日本の京都で開催されたKISSYというサマーキャンプに参加しました。KISSYは韓国、日本、カンボジア、ケニアの4か国の子供たちが集まって共通するプロジェクトを完成する国際交流キャンプであり、コミュニケーションのできない状況の中でお互い協力していくことを目標とします。日本に行ってみる前まで、私が日本という国について知っていたものはまったくありませんでした。日本と聞けば思い浮かぶのはニュースなどでよく見える韓国と日本の外交・政治的な問題だけだったほどです。でも日本に直接行って人たちとコミュニケーションしてみると、そのような偏見は完全になりました。

KISSYキャンプで会った友達、先生たちを含め、私が会った日本の人たちは私の心にとってもいい印象を残しました。そして1週間現地の友達と一緒に活動しながら、お互いの国の文化についてもっと詳しく分かる機会を作り、とても親くなりました。当時会った日本の友達と先生たちとは、今もたまたま連絡しているほどです。色んな国の友達と交流しながら、私は個人間の関係だけでなく、韓国と日本の国際関係にとっても両国は仲良い友達になれるんじゃないかと思いました。そして自分自身がそれを助けられる人になりたいくなりました。それができるためには、まず言語を学ぶべきだと考えました。それで3年半前から日本語の勉強を始めました。

3年間日本語を独学で学びながら難しいこともありましたが、日本語、そして日本の魅力的な文化は私が日本語の勉強を続けられるようにしました。今はある程度まで日本語を勉強して、これと関する進路を調べています。この後大学に進学したら、日本に留学しながらKISSYキャンプを開催した非営利団体でボランティア活動をしながら、日本と世界の友達が私のような目標と夢を持てるように、世界市民として未来の国際社会で活動する切っ掛けを作っていくことを助けたいと思います。

外交官になったら日本語と英語などの外国語の実力を持って、韓国と日本、両国の関係を改善し、同盟を強化する架橋になりたいです。

世界を読んで悟ったこと

강민준(姜珉俊、Kang Min Jun)

皆さん。こんにちは。私はカンミンジュンと申します。

今日私は“今の世界を読んで悟ったこと”について語りたいと思います。

私がこのテーマを選択したきっかけは、母と世界的な話題について話し合ったことです。

私の母は食堂を営んでいます。その影響で、私も食べ物の値段や経営の仕方をよく知っています。また、今韓国はインフレーションが深刻です。母の場合、よく使う材料の値上がりがあるそうです。今起きているウクライナとロシアとの戦争のせいで 油の価格が上がって、食用油も影響を受けたそうです。他にも多くの材料の値上がりが進んだと聞きました。

これがきっかけとなり、私は今の世界、とくに韓国と日本の現状について、もっと興味を持って調べることにしました。

韓国では、コロナ禍で借金を抱える若者が増えました。アンケート結果によると、彼らの平均月給は20万円を下回りました。所得の大部分は家賃で使われます。そして、8割の人たちは両親からの経済的な援助ももらえません。また、生活苦のせいで殺人などの犯罪も起こっています。

日本でも似たような状況が起きています。私は毎日朝7時からNHKニュースを見ているのですが、2020年から2022年にかけて一番よく言及されたのは生活貧困でした。シングルマザー、独り暮らしのお年寄り、若者、コロナ禍で職を失った人、女性、男性の区分もなく皆が苦しんでいると知りました。お金がないから最小限の生活だけでもできるように皆が頑張っていました。お金を稼ぐために仕事を掛け持ちしたり、中には、SNSなどで知り合った男性と食事などをしてお金をもらう女性もいます。一人分のお弁当を買うお金もなくて、塩むすびだけで食事を済ませる人もいます。いくら10万円ずつ給付や、児童扶養手当のような政府の支援があるとしてもすべての貧困な人たちを守ることはできないのです。

こんな状況について詳しく分かるようになった私は思いました。「この世の中をもっと温かくするためには互いがもっと助け合うべきだ」と。今自分ができることは何があるんだろうと思いました。悩んだ結果、まず私はこの世の中を正しく理解し、世界に少しでもいい影響を与えるために一生懸命勉強するようになりました。私が広い識見を持っていたらその分他人を助けることができると思ったからです。また、今の自分にできることとして、自分が毎月もらっている小遣いの一部を寄付することにしました。寄付する先は多いです。少しでもいいから私も寄付するべきだと感じました。それと、SNSで行われているキャンペーンに参加することもあります。今はまだ学生だからできることは少ないですが、経済的な余裕ができたらもっと積極的に人々を助けたいです。皆さんも周りの人や世界の人たちに関心を持って、お互いが助け合って生きて行って欲しいです。

私も多くの人を助けられるように、これからも頑張ります。

本日は、私の話を聞いてくださり誠にありがとうございました。